

参加者募集

日本の ELSI/RRI の未来を拓く

～ ELSI Hiroshima ワークショップ 2026 ～

1. 背景と目標

近年、各大学において「ELSI センター」の設置が進んでおり、広島大学でも 2023 年 4 月に共創科学基盤センター（通称 ELSI センター／ELSI Hiroshima）を開設しました。しかしながら、各センターはいずれも設置から日が浅く、現状では、各大学内の研究者や組織が取り組む ELSI/RRI に関する研究において、情報共有や組織間連携が十分とは言えない状況にあります。また、次世代の ELSI/RRI 人材育成についても、共通の課題として浮かび上がっています。このような背景を踏まえ、大学や組織の枠を超えた連携を促進し、国内における ELSI (Ethical, Legal, and Social Issues) および RRI (Responsible Research and Innovation) のさらなる推進につながる新たな取り組みを生み出していくことが求められています。

広島大学共創科学基盤センターでは、2024 年、2025 年に引き続き「ELSI Hiroshima ワークショップ 2026」を、大阪大学社会技術共創研究センターと共催で開催いたします。本ワークショップでは、日本における ELSI/RRI 研究の動向を俯瞰するとともに、昨年度のワークショップにおいて特に関心の高かった、ELSI/RRI 人材の社会的需要、ELSI/RRI に関する実務および研究の内容、求められる人物像、キャリアパスなどについて議論を深めます。また、次世代の ELSI/RRI 人材にとって重要となるネットワーク形成を促進するため、参加者同士が交流できる場も設ける予定です。

本センターでは、こうした取り組みを継続的に実施し、次世代の ELSI/RRI 人材が積極的に参画する機会を創出することで、日本国内における ELSI ネットワーク（組織レベル・個人レベル）の定着を図るとともに、日本の ELSI/RRI 全体の底上げと発展を目指しています。以上の趣旨のもと、「ELSI Hiroshima ワークショップ 2026」の開催および参加者募集のご案内をいたします。

2. 日時と場所

- 日時 2026 年 3 月 16 日（月）11：30 - 17：00
 - ・ 11：30 - 11：50 受付、17：00 - 19:30 情報交換・交流会*
 - ・ 9：00 - 11：30 エクスカーション（希望者のみ、平和公園を中心に）**
- 3 月 17 日（火）9：00 - 16：30
 - *：参加者には両日の昼食を無償提供します。交流会は、立食・バンケット方式で、参加者には 1,500～2,000 円程度の参加費を頂きます。
 - **：希望者のみですが、参加費および平和公園周辺から会場までの移動交通費は不要です。
- 場所 広島大学 東千田キャンパス 地域連携フロア SENDA LAB
広島市中区東千田町 1 丁目 1 - 89 (JR「広島駅」より市内電車で約 35 分)
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendalab>

※情報交換・交流会会場も同会場を予定

3. 対象者と参加条件

- 対象者 大学院生、ポスドク、若手研究者（学位取得後7年以内）……20名程度
- 参加条件 ワークショップに全日参加できる方を優先します。
ワークショップ参加後にアンケートへの記入をお願いします（個人が特定されない形でHPや報告書等で使用させていただきます）。

4. 応募方法と締切

- 応募方法 以下のURLまたは2次元コードにアクセスし、所定事項を記載して下さい。
申し込みURL：<https://forms.office.com/r/4EQVR2FyeB>
申し込み2次元コード：



- 締切 2026年1月23日（金） 17:00まで
※ 選考結果は締め切り終了後、1週間程度にて連絡致します。
- 自己紹介資料 参加される方には、参加者相互の理解、今後のネットワーク形成、各位の情報を共有するため、自己紹介スライドの提出をお願いします。本資料は、自己紹介プレゼンテーションのセッションで使用します。後日、テンプレートの配信を行いますので必要内容をご記載され、ご提出ください。
- 問い合わせ 広島大学 学術・社会連携室未来共創科学研究本部共創科学基盤センター
E-mail [cont-02\[at\]hiroshima-u.ac.jp](mailto:cont-02@hiroshima-u.ac.jp)
(atを@に変更してご連絡ください)

5. 参加費用

- 対象者となるワークショップ受講者は、受講料は無料です。また、交通費および宿泊費を、広島大学の規定に基づき、支給致します。エクスカージョンに参加される受講者で、前泊を必要とされる場合、前泊の費用も支給致します。

6. プログラム概要

- 研究動向紹介
JST CRDS 担当者や各大学 ELSI センターの代表者が ELSI/RRI 研究・実践の最新動向について発表し、受講者が ELSI/RRI の背景と内容、研究方法への理解を深める機会とします

- 自己紹介セッション
参加者相互の理解と交流を促進し、今後のネットワーク形成や情報共有につなげることを目的として、各受講者に数分程度の自己紹介プレゼンテーションを行っていただきます。
- ELSI 論点の抽出ワークショップ（大阪大学 ELSI センター）
戦争体験を伝えるための語り部 AIなどを題材に、倫理的・法的・社会的課題（ELSI）を参加者とともに探索します。
- 人材育成とキャリアパスにかかる議論（広島大学共創科学基盤センター）
ELSI/RRI の実務や研究に携わった登壇者がその経験をもとに、人材の社会的需要、実務・研究の内容、求められる人物像、キャリア形成のあり方について話題提供を行います。これらを踏まえたパネルディスカッションを通じて、ELSI/RRI 分野における人材育成とキャリア形成への理解を深めます。

7. 講師および演題（50音順）

（ELSI/RRI 動向、全国 ELSI センター活動）

- 濱田志穂 氏（国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター・フェロー）
演題：国内外の ELSI/RRI の最新動向：STI 政策の現場から（仮）
- 全国 ELSI センター活動（提供方法検討中）

（大阪大学 ELSI センター提供 ELSI 論点の抽出ワークショップ）

- 進行：鹿野祐介 氏（大阪大学 CO デザインセンター 特任講師）ほか

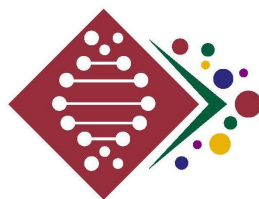
（広島大学共創科学基盤センター提供 ELSI 実務・研究セッション）

- 白井哲哉 氏（京都大学総合研究推進本部 企画部門企画立案領域長 URA（上席））
- 高橋しづこ 氏（シンガポール国立大学 リサーチフェロー、産婦人科専門医）
- 田中孝宣 氏（NEC BluStellar シナリオ統括部 主任）
- 長門裕介 氏（大阪大学社会技術共創研究センター 講師）
- 松尾真紀子 氏（東京大学公共政策大学院 特任准教授）
- 宮良晶子 氏（広島大学学術・社会連携室 研究戦略部門長、共創科学基盤センター次世代研究ハーバー長、チーフ URA）

8. 参加者へのメリット

- 国内で ELSI/RRI 研究・実践に取り組む研究者からの貴重な知見や情報を得られる
- 国内外における ELSI/RRI の最新動向を把握できる
- 日本国内の ELSI/RRI ネットワーク構築につながる交流の機会を得られる

主催：広島大学共創科学基盤センター
共催：大阪大学社会技術共創研究センター
広島大学ゲノム編集先端人材育成プログラム





ELSI HIROSHIMA ワークショップ2026 エクスカーション

2026年3月16日9:00-11:30
(9:00に原爆資料館東側に集合)

- ✓ NPO法人PCVバディのガイドによる
ピースパークツアー（資料館見学は含まない）
- ✓ 被爆電車(貸切)にて会場へ移動
車中にて現存する被爆建物の説明



参加費

無料



広島から「平和文化」を 世界へ届けたい

NPO法人Peace Culture Village(PCV)は広島を拠点に、持続可能なWell-being(幸福)を希求し、グローバルな平和文化の構築を目指すことをビジョンに掲げ活動するチームです。

子どもたちへ向けた

「平和共育プログラム(ピースダイアログ)」の開発と運営から、海外のVIP、企業経営者研修まで幅広くプログラムを提供し、一人一人にとって平和な世界を構築するための役割、ビジョンを描くための機会・場作りを行っています。

この取り組みを通じて活動する

ピースバディ育成の仕組みが、地域の若者の人財育成の場となっています。

【受入実績】

□ 2020年～2022年：3年間通算42,000名へプログラムを提供

【受賞実績】

- 国際交流基金地球市民賞2023受賞
- グッドデザイン賞2022受賞
- 若者力大賞2022受賞
- コモンズSEEDCap第13回寄付応援先に選定



ピースダイアログ運営
広島NPO法人
Peace Culture Village専務理事
住岡 健太
Kenta Sumioka

現在、平和教育も新たなカタチが求められています。体験者が直接戦争を語ることに加え、若い世代同士が共に考え、共に成長していくのが「平和共育」という新たな学びの時間。答えを教えてもらうのではなく、そもそも答えがあるわけでもなく「平和とは何か」を考えることにより、一人一人が自分自身と向き合う。平和を自分ごととして考え行動する「平和共育」をピース・ダイアログでは提案していきたいと思っています。

①ピースパークツアー

広島平和記念公園内のモニュメントを中心に、ピースバディと共に巡ります。

かつて広島有数の繁華街だった旧中島地区の暮らし、ヒロシマの歴史を案内。ここにあった人々の想いや物語に目を向けます。

公園内を歩きながら広島の持つ場の力を感じ、今ある"当たり前"の日常を実感することで、平和を通して「自分」に目を向けます。対話を通じて現地でしか出逢うことができないような問いと向き合う時間をつくり、自分にとっての平和について考えます。

POINT

- ・ 広島で平和活動を行う若者によるガイド
- ・ 対話によるアウトプットを重視
- ・ カラー化した写真や五感を活用したフィールドワーク

▶当日の流れ（イメージ）所要80分（ガイド箇所数や人数によって変動）

●イントロダクション

ツアーの説明・案内等のガイダンスとマインドセット(10～15分)

●ガイドツアー

数か所をピースバディと対話しながら一緒に巡ります(40～50分)

●アウトプット

感想共有 / ピースバディとの対話(10～15分)



・実施時期：通年（設定除外日：年末年始、8月6日前後）

・場 所：広島平和記念公園

・所要時間：80分

・メンバー動員数：生徒約8名～11名にピースバディ1名

・受け入れ人数：～320名

※ 160人以上は資料館見学とのローテーション対応をお願いしています。

※ 少人数で実施の場合、催行保証価格をご確認ください。

▶交通アクセス

・広島駅より車で約15分又は市内電車で約20分（電停からの徒歩を含む）

・府中ICより車で約20分

ピースダイアログとは

→ 未来志向の自己探求学習

ピースダイアログは、日本各地で平和活動を行う若者（ピースパディ）と語り合いながら、共に考え、お互いに意見を出しあいます。答えを教えてもらうのではなく、子どもたち自らが「自分にとっての平和」について主体的に考えていく、対話型のプログラムです。



PEACE 平和とは何か
DIALOGUE 対話

【意味】

違う背景を持った
人達同士が出会い、
平和について語り合う

POINT
1

平和活動に関わる 若者との対話型プログラム

平和活動に関わる若者（ピースパディ）が平和学習をお手伝いします。教えるのではなく、互いに学び合い、協力して学びを深めていくプログラムです。

POINT
2

子どもたちにどう伝えるかを 追求したプログラム

カラー化した当時の写真等、よりわかりやすい資料で過去を伝え、様々な感覚を共有しながら主体性を引き出していきます。

POINT
3

子どもたちの アウトプットを重視した プログラム

事前学習や現地での体験を元に、インプットした知識をより深いものにし、平和を自分ごととして考え仲間たちと共有する機会を提供します。

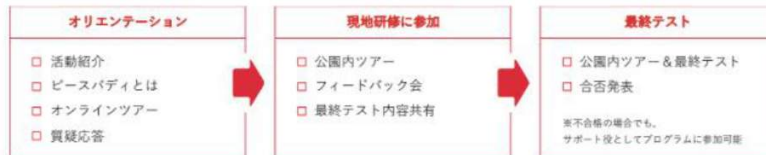
⇒ 平和について共に学びあう同世代のトモダチ

自分にとっての平和を探求しながら、
平和の継承者として本気で子どもたちと向き合う若者たちです。

■ バディ育成のために取り組んでいること

① 研修制度

月に一回の定期的な現地研修を実施し、他のバディからのフィードバックをもらうなど、バディ同士の学び合いを大切にしている研修制度を設けています。



② アカデミー運営

『自分を知り、世界を変える!』を合言葉に、とことん自分に向き合い、「平和×○○」という自分が描くオリジナルの平和文化の実践を通して、持続可能で平和な世界を共創する「ピースリーダー」を育成する学校です。この学校を通じてピースバディとしてのキャリアを積むメンバーも多いです。

バディ育成・平和共育事業 統括メンバー



山口 晴希
Haruki Yamaguchi

広島生まれ広島育ちの3世。大学時代にワーキングホリデーでカナダにて1年過ごし、世界の人から見る「HIROSHIMA」を知る。自分の言葉で話せるようになりたいと思うようになり平和公園のツアーガイドを始める。子どもたちの未来がワクワクで溢れると共に、広島と世界を繋げるきっかけを作り続けている。



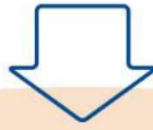
瀬戸 麻由
Mayu Seto

広島県呉市出身。旅と地元をこよなく愛する。大学時代にピースボートに乗船し地球を3周。2013年にユース非核特使として活動。アイルランド留学中に作詞作曲を始め、2017年春に歌手活動を開始。2022年6月にウィーンで開催された核兵器禁止条約の第一回締約国会議に参加するなど、核廃絶を目指す国際的な動きに関わっている。

日本各地の歴史



ピースパディとの対話



出逢い・対話・問いを通じて
子どもたちの中にモヤモヤとワクワクが生まれます。

- ✓ 自分にとっての平和について考え始める
- ✓ プログラムの参加者という立場から、
自分自身が平和継承の主体者へと変化する
- ✓ 自分にも、何かできるかもしれないと思い始める
- ✓ 地球市民の視点を持つきっかけになる



プログラムの成果・参加者の声

皆さんフレンドリーに接してくれて話しやすかったです。アイデアが次々出てきて自分にできるアクションを考えた時も優しく対応してくれ安心しました。

広島県・高校生

広島のごことは教科書で学んだことがありましたが、歴史の一場面としてしか考えられなくて、どこか実感が湧かない感じがありました。ツアーではピースパディの方の話を聞きながら、「もし自分がその時代に生きていたら、どうなっていたらろう?」と考えるきっかけになりました。そして何より、戦争について学んで自分にできることをしているピースパディの存在に刺激を受けました。私ももっと自分ごととして行動していきたいなと思います。

静岡県・高校生

レストハウスは建物をリニューアルして新しい活用方法で残り続けていることを知り福島にある建物も同じように残せたらいいなと思いました。当たり前前の日常が一瞬でなくなるということは広島も福島も同じで改めて1日1日を大切にしたいと思いました。

福島県・高校生

普段なんでもない話ばかりしている友人と平和についてまっ正面から考えられる時間になりました。恥ずかしくなっちゃって避けられがちな話題かもしれないけれど腰を据えて話すことで知らなかった自分や相手の一面を知ることにも繋がりました。「平和について考える」こと自体を身近にできるそんな素敵な時間と空間だったなと思います!

埼玉県・高校生

復興を遂げた今の広島の風景がもしまた過ちを繰り返してしまえば「戦前」の姿になるかもしれないというメッセージには考えさせられました。

北海道・教員

原爆前の日常→落ちる瞬間→対話→未来に向けてという練り込まれたストーリーがとてもよかったです。「イメージすることができた」と生徒からも感想がありました。

静岡県・教員

いつも学校で見ている姿とは違っておりとても積極的に学ぼうとしている姿勢が見れました!ここまですごい自分から発言したりコミュニケーションを取ったりできる生徒だと思っていたりなかったです!

広島県・教員

広島コーディネータープロフィール

社名	NPO法人Peace Culture Village(PCV)	 Peace Culture Village
ビジョン	持続可能なWell-being(幸福)を希求し、グローバルな平和文化の構築を目指す	
紹介	一人一人にとって平和な世界を構築するための役割、ビジョンを磨くための機会・場所作りを行っています。PCVのプログラムで大切にしていることは、子どもたちに「どう伝わるか」を追求したプログラム設計、そこから生まれる自由な探求と個々人の気づき、一人ひとりから生まれ出てくる平和文化です。共に平和について考えるピースバディ育成の仕組みは、地域の若者の人財育成の場となっています。	
実績	「自分を知り、世界を変える」をコンセプトにオンラインスクール「Peace Culture Academy(PCA)」を運営し、3年間で通算100名のピースリーダー育成にも携わる。2022年にはグッドデザイン賞、2023年には国際交流基金地球市民賞を受賞。	 パークツアー後のバディ同士の振り返り  PCA第1期卒業生
	 共育事業統括 山口 晴希(Haruki Yamaguchi)  スタッフ 檜崎 桃花(Momoka Narasaki)  スタッフ 坂光 夏海(Natsumi Sakamitsu)	PCVの ホームページ ↓ 